

みずほCustomer Desk Report 2025/04/25号 (As of 2025/04/24)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	142.96
TKY 9:00AM	143.20	1.1327	162.25	1.3264	0.6363
SYD-NY High	143.33	1.1398	162.50	1.3348	0.6412
SYD-NY Low	142.28	1.1323	161.95	1.3263	0.6345
NY 5:00 PM	142.62	1.1389	162.48	1.3338	0.6412
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	40,093.40	486.83	日本2年債	0.6600%	▲0.0200%
NASDAQ	17,166.04	457.99	日本10年債	1.3100%	▲0.0100%
S&P	5,484.77	108.91	米国2年債	3.7910%	▲0.0768%
日経平均	35,039.15	170.52	米国5年債	3.9315%	▲0.0857%
TOPIX	2,592.56	8.24	米国10年債	4.3139%	▲0.0702%
シカゴ日経先物	35,570.00	115.00	独10年債	2.4420%	▲0.0515%
ロンドンFT	8,407.44	4.26	英10年債	4.4990%	▲0.0565%
DAX	22,064.51	102.54	豪10年債	4.1970%	▲0.0100%
ハンセン指数	21,909.76	▲162.86	USDJPY 1M Vol	11.88%	▲0.71%
上海総合	3,297.29	0.93	USDJPY 3M Vol	11.59%	▲0.07%
NY金	3,348.60	54.50	USDJPY 6M Vol	11.11%	▲0.13%
WTI	62.79	0.52	USDJPY 1M 25RR	▲1.92%	Yen Call Over
CRB指数	297.83	2.21	EURJPY 3M Vol	9.80%	▲0.05%
ドルインデックス	99.38	▲0.47	EURJPY 6M Vol	10.04%	0.03%

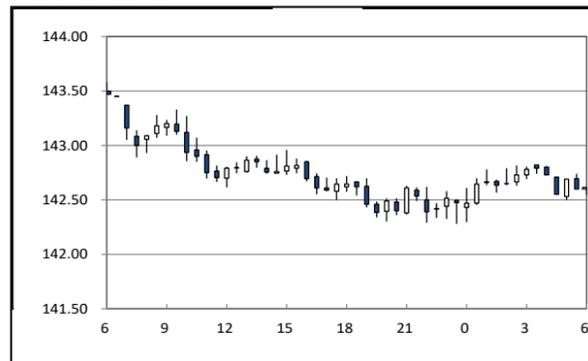
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
4月24日	17:00	独 IFO企業景況感/現況/期待指数	4月 86.9/86.4/87.4	85.2/85.4/85
	21:30	米 シカゴ連銀全米活動指数	3月 -0.03	0.12
	21:30	米 耐久財受注(前月比)・速報	3月 9.2%	2.0%
	21:30	米 耐久財受注(除輸送用機器)・速報	3月 0.0%	0.3%
	21:30	米 新規失業保険申請件数	19-Apr 222k	222k
	23:00	米 中古住宅販売件数	3月 4.02m	4.13m

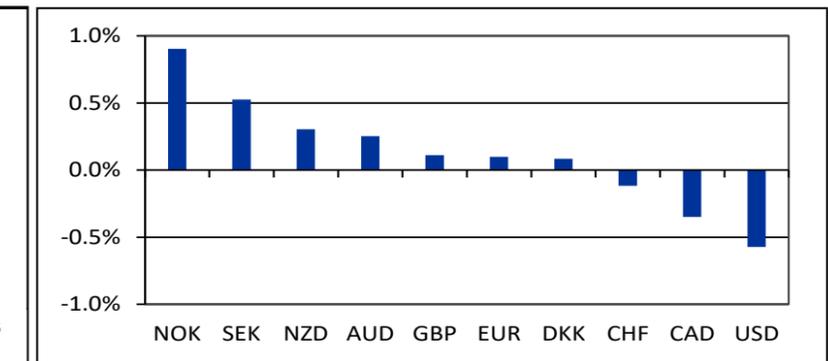
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
4月25日	08:01	英 GfK消費者信頼感	4月 -21	-19
	08:30	日 東京CPI/コアCPI/コアコアCPI	4月 3.3%/3.2%/2.8%	2.9%/2.4%/2.2%
	15:00	英 小売売上高(除自動車燃料、前月比/前年比)	3月 -0.5%/2%	1%/2.2%
	21:30	加 小売売上高(前月比)	2月 -0.4%	-0.6%
	23:00	米 ミシガン大学消費者マインド・確報	4月 50.5	50.8

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	141.80-143.50	1.1300-1.1450	161.80-163.50

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円は小幅に下落。日米財務相会談が控える中、142円台半ばから後半のレンジ内で方向感出ない推移が続いた。海外時間に中国外務省報道官が「米中の関税を巡る協議をおこなっていない」と表明するとドルが幅広い通貨に対して売られるも、対円での下落は限定的だった。なお、本日早朝に加藤財務相が米国との二か国間協議では、為替相場の水準についての言及は全くなかったと否定した。中国は米国との関税を巡る協議の進展を否定。関税を全て撤回するように求め、強硬姿勢を維持しており、貿易戦争の長期化が視野に入りつつある。そんな中、FRBのウォラー理事は高関税が維持された場合、労働市場を守るため利下げの支持を表明。前述した材料からドルが買い戻されるとは想定されず、本日も上値重い推移となると予想する。

東京	東京時間のドル円は143.20レベルでオープン。オープン後143.33まで上昇したがその後はドル売りが進んだ。本日は日米財務相会談を控えているため、会談への警戒感もあり方向感無く142円台半ばから142円台後半にかけて小幅なレンジで推移。結局142.82レベルで海外時間へ渡った。
ロンドン	ロンドン時間のドル円は142.82レベルで始まり、材料に乏しいなか142.30から142.96まで方向感なく取引された後、142.59レベルでNYに渡った。注目の加藤財務相とベッセント米財務長官による日米会談は今日遅くに行われる予定である。加藤氏は、協議は既存の協定に基づいて行われることを示唆し、市場で決定される為替レートの重要性を改めて表明している。
ニューヨーク	NY市場のドル円は、朝方に発表された先週分の新規失業保険申請件数と失業保険継続受給者数が共に上方修正されたことなどから米金利の低下と共に売りが優勢となり、142.28まで下落。午後は材料難の中、142.70付近を挟んだ方向感乏しい推移が続き、142.62レベルでクロス。一方ユーロは独金利の低下が重しとなり、1.1348までじり安で推移。午後は特段材料が見当たらない中、1.1398まで反発し、その後1.1389レベルでクロス。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。